



1 学年必修「家庭基礎」の授業

- 1 科目名 家庭基礎（1年必修・2単位）
- 2 担当者 丸子恵未（教諭、1年担任、進路指導部、創作料理部顧問、本校2年目）
- 3 連携 講師として、鹿又貴美子（羅臼町教育委員会社会教育課、管理栄養士）が、講義をおこなった。
- 4 内容 単元「保育」の乳幼児の発育と発達
羅臼町教育委員会社会教育課に所属している管理栄養士の鹿又さんを招聘し、「離乳食」に関する授業をおこなった。



上右：乳児にミルクを飲ませる方法と注意することのレクチャー
 上左：離乳食を食べ比べている
 下左：離乳食の特徴等についてのレクチャー
 中左：「離乳食」試食するため個別に盛られている
 潰したお粥、潰さないお粥、堅さの異なるニンジン、市販のペースト状離乳食
 中右：市販の離乳食

- 《実践してわかることは、たくさんある》
- 乳児は重いので、同じ体勢では腕がキツくなる。（ミルクをあげるときに便利なクッションなどがある）
 - 市販の離乳食には当たり外れがあるので、お母さんが味を確かめ、おいしいのを使おう。
 - 乳児の成長は、乳児の成長曲線等のデータと照らし合わせて一定間隔で確かめるといい。
 - お粥は潰すと味が変わり、乳児はその差を感じている。

家庭基礎

学年・形態	1 学年・必修	教科書	(教育図書) 家庭基礎 ともに生きる 明日をつくる		
単位数	2 単位	副教材	なし		
科目の目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。				
学習内容	I ともに生きる：①人の一生と家族 ②保育 ③高齢者 ④共生社会 II 明日をつくる：①食生活 ②衣生活 ③住生活 ④消費生活 ⑤環境 ⑥ホームプロジェクト				
評価の方法	次の項目を総合的に判断して行う。 ①定期考査・単元テストの成績 ②課題・実習レポートの提出状況と内容 ③質疑応答・発表の内容、姿勢、態度 ④学習状況の観察				
評価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	対象	・授業態度 ・課題・実習レポート	・定期考査 ・単元テスト ・課題・実習レポート	・実習作品 ・実習の様子	・定期考査 ・単元テスト ・課題・実習レポート
	S	学習内容について強い関心を持ち、生活の充実向上を目指して自ら進んで学びを深め、実践的な態度を身につけている。	学習内容について、課題を多面的に捉え、解決を目指して思考を深めている。具体的かつ他者にわかりやすく表現できる。	学習内容について、正しい理解に基づいた正確な技術を身につけている。	学習内容について、正しい知識に加え、発展的な概念を身につけている。
	A	学習内容について関心を持ち、生活の充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	学習内容について、課題を見だし、解決に向けて適切に判断し、具体的にまとめることができる。	学習内容について、正確な技術を身につけている。	学習内容について、正しい知識や概念を身につけている。
	B	学習内容について、与えられた課題に取り組む中で関心を持つことができる。	学習内容について、課題を適切に捉え、考えをまとめることができる。	学習内容について、基礎的・基本的な技術を身につけている。	学習内容について、基礎的・基本的な知識や概念を身につけている。
C	学習内容について、課題の重要性が認識できず、取り組みに不足がある。	学習内容について、課題を適切に捉えたり、考えをまとめることができない。	学習内容について、基礎的・基本的な技術を身につけていない。	学習内容について、基礎的・基本的な知識や概念を身につけていない。	

	単元名	主な学習内容	
前期	○人の一生と家族	・青年期の課題	・ライフプラン ・家族と社会
	○保育	・乳幼児の発育と発達	・親の役割 ・子どもを取り巻く環境
	○高齢者	・超高齢社会	・高齢者理解
	○共生社会	・社会保障制度	
	○消費生活	・自立した消費者	・家計管理
後期	○環境	・持続可能な社会	・循環型社会
	○住生活	・家族の生活と住空間	・安全・健康的に暮らす ・これからの住生活
	○食生活	・食生活を見つめる	・栄養素 ・食品の選択と取り扱い
		・調理実習	
	○衣生活	・衣服の成り立ちと性質	・衣服管理 ・被服実習
	○ホームプロジェクト	・生活課題の解決に向けて	

子育てにジェンダーは関係ない。
 しっかり学び、親になったら愛情をもって実践しよう。